

学校だより

# あ お ぎ り

No. 8 平成22年8月30日

須坂市立森上小学校

## 猛暑の中 2学期始まる

20日(金)より、2学期が始まりました。

連日、記録的な猛暑が続いていますが、おかげさまで、子どもたちは落ち着いて2学期のスタートがきれたように思います。

始業式の校長講話で、次のような話をしました。

2学期は、一番長い学期であり、たくさんの行事も予定されています。「実りの学期」と言われることもあります。その言葉どおり、一人一人にとって「実りの学期」になるようがんばってほしいと思います。

ここに、イネを持ってきました。私たちがほぼ毎日食べるお米は、ここからとれます。もう、「実(米)」ができてきているのが分かりますね。片方は、大分実ったイネ。もう一方は、まだあまり実っていないイネです。このように、植物が栄養になるものを蓄えた状態が「実り」です。それを私たち人間にもあてはめて、素晴らしいものや良いものが自分のものになると、「実りがあった」というふうに言います。



<見本のイネ>

それでは、「実りの学期」にするには、どうしたら良いのでしょうか。花や野菜を育てた経験がある皆さんなら分かりますね。「きれいな花を咲かせたい」とか、「たくさんを穫りたい」と思ったら、水や肥料を忘れずにやるなどの世話が必要になります。世話=努力と考えてもらえば分かりやすいと思います。

代表で発表してくれた5年生のお友だちが、「忘れ物をしないようにしたい」という目標を立て、そのために「連絡帳で確認する」ことを忘れずやりたいと言ってくれましたが、これがその努力ですね。

ぜひ、一人一人が2学期の目標達成に向けてがんばり、それぞれの「実り」が迎えられるようにして欲しいと思います。

最後に、もう一つ話をします。

昔からよく言われる言葉に、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」というものがあります。しっかり実っていいお米ができているものほど、その重みで穂が垂れ下がります。これも人間にあてはめ、しっかりした立派な人ほど威張ってふんぞり返るのではなく、逆に、相手に対して思いやりや優しい気持ちを持って、自分から人に挨拶をしたり相手と和やかに接したりすることができるということを言っています。

1学期も大勢の人ができていたのですが、自分の中に実りを増やすことで、さらに進んで挨拶ができるようになったり、友だちに優しく接することができるようになったりして欲しいなと思います。

学校目標の「三つの『や』(やさしい子、やりぬく子、やくそくを守る子)の約束」も頭に入れながら、長い2学期をがんばっていきましょう。

## 暑さに負けずに みんなの力で

BEFORE



AFTER



夏休みの間に、広いグラウンドには、草がこんなに生えてしまいました。

これから、運動会の練習が始まる大事な場所です。

先週、水・木の朝の時間に、全校で、石拾いをしたり（主に1・2年）、草取りをしたりしました。大勢の力は、やはりすごいです。草も石もずいぶん取り除かれて、きれいになりました。

「運動会が楽しくできるように」という気持ちで、みんながんばってくれたのだと思います。

子どもの力だけではまだまだ十分ではないので、9月5日（日）のPTA作業で、お家の皆様のお力もお借りして、さらに整備が進むように計画がされているところです。お忙しい中ですが、ご協力をよろしくお願いします。

## 夏休みの思い出・がんばりを見てください



夏休みの間にがんばったものが、校内のあちこちに見事な形となって現れています。

昇降口の花は、1年智組の子どもたちや栽培委員会の子供たちが苗から育て、ポット・プランターに移植し、夏休みの間も交代で水やりをして育ててくれているものです。背丈の高い花は、1年生の姿を隠すくらいの大きさに生長しています。

夏休みの作品は、各教室の廊下などに、ところ狭しという感じで展示されています。どの作品の内容もしっかりしていて、休みの充実ぶりがうかがえます。

水やり当番、研究や作品づくりに関わっては、ご家庭の皆様のご協力が不可欠だった部分も多々あったかと思いますが、お陰様で良い夏休みになったと感じています。お世話になり、ありがとうございました。

## おめでとう！ 「一茶ゆかりの里」小中学生俳句大会に入選

全部で936点の応募があったそうですが、森上小学校の次の3名の皆さんが特選に入選しました。おめでとうございます。

- |          |                          |
|----------|--------------------------|
| 1年 さとうけん | 「ふしぎだな ありのぎょうれつ どこへいく」   |
| 4年 山本 彩雅 | 「夏の庭 チョコチョコチョコと ありぎょうれつ」 |
| 5年 生玉 光麗 | 「きりの雲 山をおおって 守ってる」       |

